

料理の手間なし! 酵素酢モヤシダイエット新発見

手作り
酵素

1食15円で
やせた!
下腹ペタンコ!
高血圧が40ミリ
低下!

わかさ
2017
6

食前に小皿1杯で代謝が上がる! 脂肪が燃える! 血糖値が下がる! 毎日快便と医師絶賛

簡単小皿料理 カサ増しアイデア
低カロリー・低糖質!
サッと作れておいしい
酢モヤシレシピ 50



顔もみのやり方
実演動画つき



続報 高カカチヨコ
糖尿病・高血圧・高脂血
歯周病・認知症も撃退!

手足顔

ふるえ 次々と神經の修復を進めて治す!
消えた! 神經の脳神經外科医開発
脊柱管狭窄症の足裏しびれやパーキンソン病も改善し驚いた
90秒 顔もみの奇跡

坐骨神経痛・肋間神経痛などを治す急所は、なんと「顔」と39万人診療で新発見

手
足
顔

しびれ・神経痛

ふるえ 次々と 神経の修復を進めて治す!
消えた! 脳神経外科医開発

90
秒

顔もみの奇跡

手足顔のしびれ・ふるえ
坐骨神経痛・肋間神経痛を
治す急所は顔!



今月の「わかさ」は「顔もみ」の大特集。神経の修復を進めて、つらいしびれや神経痛を退散させる「顔もみ」は、脳神経外科医も推奨の健康法。信じられないそこあなた。まずは90秒顔をもんでみてください。その場で効果が実感できるはず!

90
秒
顔もみやり方ガイド動画つき

図解

しびれ・神経痛ふるえりか 頸椎症

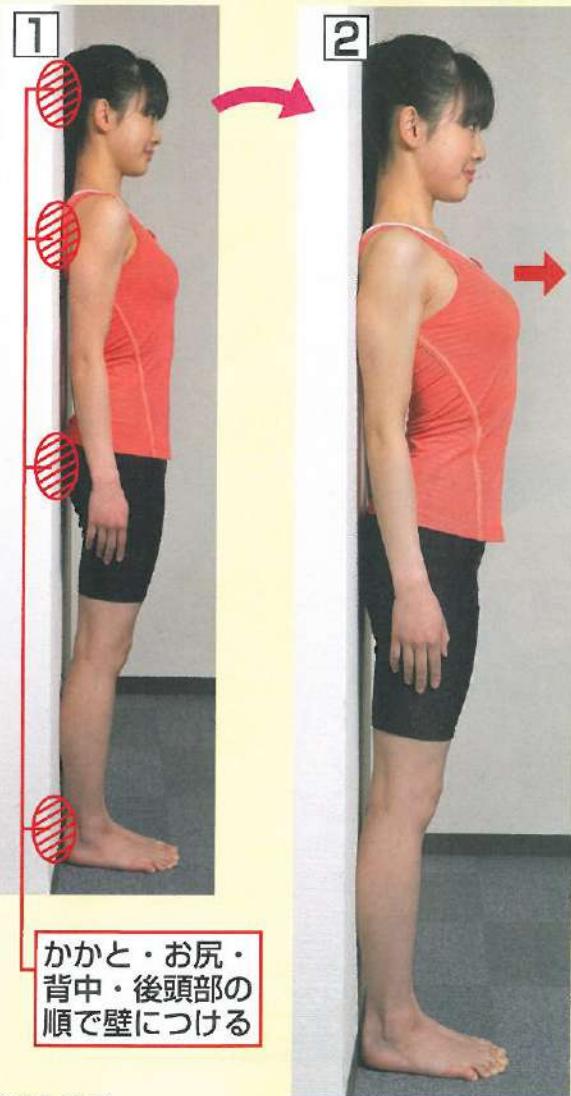
パーキンソン病に効いた90秒顔もみやり方ガイド動画つき

くどうちあき脳神経
外科クリニック院長
工藤千秋

★神経の若返りには「90秒顔もみ」と「壁背伸ばし」を行うのが基本です。さらに、10分からの症状別編の各体操を行えば効果が高まります。

神経が驚くほど若返る

壁 背 伸 ば し



①かかと・お尻・背中・後頭部の4点を壁にピッタリとつけて背すじを伸ばし、あごを引いた姿勢を取る。

②①の姿勢から胸を突き出すようにして背中と上側と肩を壁にグッと押しつけ、自然な呼吸をしながら20秒数える。①と②を3回くり返すことを1セットとする。1日1セット以上行う。

治療を続けてもなかなか改善しない手・足・顔のしびれや神経痛。その新たな原因として浮かび上がってきたのが、「神経の劣化」です。なんらかの原因で神経が劣化すると、体の感覚や脳からの命令を伝える電気信号が漏電したり、つまつたりして、しびれや激痛、ふるえが起こるの

そこで、ぜひ実践したいのが脳神経外科医の私が考案した修復法「90秒顔もみ」です。神経は、新生させることはできませんが、ピカピカに磨いて修復し若返らせることができます。簡単な体操でできるので神経の劣化は、神経の軸索

を覆う「ミエリン」が損傷することで起こります。90秒顔もみを行えば、新鮮な酸素が脳の広範囲に届き、傷ついたミエリンの修復が促され、神経が若返ってきます。すると、情報伝達がスムーズに行われて、しびれや痛みが軽減するばかりか、高血圧や物忘れまで減つてくるのです。
90秒顔もみは、「壁背伸ばし」とともに行えば効果が高まり、しびれや神経痛の大大きな改善効果が得られます。中にはやつたその場で、痛みが和らぐのを感じる人も多くいます。

神経が驚くほど若返る

90秒顔もみ

1



①爪を立てないようにして中指の腹を小鼻の横に当てる。顔もみではこの中指が起点となるので、位置がずれないようにして顔もみを行う。

2



②中指は動かさずに、人さし指はほお骨の上、薬指は鼻と上唇の間、小指を下唇の下、親指は耳の下に当てる。

3



③そのまま指の腹でほお全体を5回つまむようにしてもむ。ギュッとつまむのではなく、あまり力を入れずに軽くもむ。

4



④中指以外を離し、中指で小鼻の横を2~3回軽く押す。①~④をゆっくりとくり返し30秒行う。それを3回行い1セットとする。1日1セット以上行う。

症状別編 顔の痛みが和らぐ

1 おかめ



①両ほおに空気を入れて思いきり膨らませ、3秒キープしたらゆっくりと空気を吐き出す。これを3回くり返す。

おかげひよっとこ

③笑顔を作り3秒キープ。②～③を3回くり返す。①～③で1セットとし1日3セット行う。

3 笑顔



2 ひよっとこ



②唇を思いきりとがらせ、3秒キープしたら力を抜く。

鏡を見ながら行うと、リラックスできる



症状別編 顔の痛みが和らぐ

ぱ ぴ ふ ぺ ほ

大きく口を開け「ぱ」「ぴ」「ふ」「ぺ」「ほ」と声に出していく。1文字を1秒かけて発音し3回くり返す。これを1セットとして1日3セット行う。



1



手の届く範囲で上に上げる

壁からやや離れて立つ

①壁に向かって立ち、腕を肩よりも高く上げて壁につき、背中の筋肉や背骨を伸ばして1分キープする。

2



回数を重ねるごとに手の位置をできる範囲で上に上げていく

首は上げない

背中は反らさない

②①で慣れたら体を壁に引き寄せるようにして腕をさらに高い位置につき、背中だけでなく体の前面も伸ばして1分キープする。1日1回行う。

「ぱぴふぺぽ」で秒数を数える



1文字1秒かけて「ぱぴふぺぽ」という。これで5秒とする

★12回くり返して1分、壁つかまりを行う

症状別編の注意点

- 90秒顔もみと壁背伸ばしを行ってから、気になる症状に合わせて症状別編を行う。行う回数は、それぞれの体操の解説に沿ってやる。
- 痛みが出ない範囲で行うこと。
- 無理にやると、逆に痛みが増してしまうことがあるので注意。圧迫骨折を起こしたことがある人は、医師と相談して行う。

肩幅に開いて立つ

2



1

①イスに座った状態で、背すじをやや反らし、深く息を吸う。

背すじをやや反らして姿勢を正す



●顔もみなど10の動作のくわしいやり方がわかる実演動画

パソコンやスマートフォンで「わかさ出版」のホームページ（www.wks.jp）にアクセスし、「わかさ夢チャンネル」をクリック。

動画ページが表示されるので、「限定公開動画・90秒顔もみ」の再生ボタンをクリックし、パスワード欄に「kaomomi」と入力。その後、再生ボタンを押せば、動画の再生が始まります。スマートフォンからは、右のQRコードから、動画ページに直接アクセスできます。不明な点は、わかさ編集部（03-3814-9731）まで。



症状別編 頸椎症が和らぐ 背中反らし

1



①台所のシンクやダイニングテーブルなどの台から30センチくらい離れて足を肩幅に開いて立ち、台の縁に手をつく。

2



②台に体重をかけるようにして斜めに体を倒す。このとき、体はまっすぐに保つ。

3



③②の状態から、おへそを前に出すようにしてゆっくりと体を反らして3秒キープ（「ぱぴぱ」）し、②の姿勢に戻す。これを3回くり返し1セットとして、1日3セット行う。

症状別編 手足のしびれが和らぐ

1



手足ブラブラ

①姿勢を正して、ひじを軽く曲げて手を胸の高さに持ていき、手首の力を抜いて5秒（「ぱぴふぱぱ」）と/orする。

②次に片足を地面から少し上げ、ひざを軽く曲げ、足首の力を抜いて手と同じように5秒（「ぱぴぱべば」）と/orする。反対の足も同様に行う。
①～②を続けて行って1セットとし、1日3セット行う。

2



三位一体の相乗効果でエイジングケア

トライアングルスリム



★運動してもなかなか…★平熱が35℃代以下★痩せてもリバウンドする
燃焼系成分と美肌成分の夢のコラボで理想に近づく！
コエンザイムQ10…100mg
L-リボ酸…150mg
L-カルチニン…210mg
ビタミンC…100mg
●2瓶まとめて3,990円×2(合計7,980円)

動物性の食物繊維「キトサン」が余分な塩素や油を吸着・排出



コレステロールが気になる方やお腹をスッキリさせたい人に！
減塩食の方、ココレスティロールが気になる方やお腹をスッキリさせたい人に！

●2瓶まとめて3,675円×2(合計7,350円)

キトサン (180粒)

音の不快感をスッキリ!!

快音サポート



ハチの子



(100粒) ●1瓶 6,300円

お申込は電話・FAXかハガキで

■お電話でのお申込は、通話料無料のフリーダイヤルで。

0120-103-296

●受付時間／AM9:30～PM6:00(日曜・祝日休み)

■FAX24時間受付中！ 0120-103-297

5,250円以上お買い上げの場合
お買い上げ金額が5,250円未満の場合、
別途735円(沖縄1,260円)の送料手数料をご負担ください。

送料無料

〒192-0916
生産者名：株式会社ユマニテ
年譜：年譜印所
品名：ユマニテ
月番：月番印所
所長名：マサヒロ
日号：日号印所
備考：備考

健康生活を応援！ ユマニテ
〒192-0916 東京都八王子市みなみ野3-19-5

症状別編 パーキンソン病が和らぐ

キラキラ星



イスに座った状態で、両腕を前に伸ばし、キラキラ星をするように手首を左右に回す。

10秒を3回くり返す(「ぱぴふべぼ」を6回行う)。これを1セットとして、1日3セットを行う。

両手を前に伸ばす

左右にできるだけ大きく手首を回す



症状別編 足のしびれが和らぐ

かかと立ち



かかとを起点に爪先を上げて立ち10秒キープする。足裏からふくらはぎが伸びていることを意識する(「ぱぴふべぼ」を2回いいながら行う)。これを1セットとして、1日3セットを行う。

電話帳や家の中にある3～4センチの段差を利用するといい。

長引く

しびれ神経痛の正体は骨格や関節の異常とは別の

神経の劣化による電気信号の乱れに回復



工藤千秋先生

くどうちあき脳神経外科クリニックでは、**しびれ・痛みの根本原因は骨格化**にあると39万人の診療で発見

神経の劣化は高血圧や便秘まで招く

脳神経外科が専門の私のクリニックですが、脳以外の部位のしびれや痛みを訴える患者さんも、おおぜいやつてきます。

「腰やひざが痛くて体を思うように動かせない」「手足にしびれ、ふるえがあつて日常生活が困難」「頭痛や首痛、肩こりでいつも気分が憂うつだ」といった症状に、長年悩んでいる人が実に多いのです。

そして、専門医による適切な治療を受けているにもかかわらず、しびれや痛みがいつこうに回復しない患者さんが

目立ちます。

このような場合、骨格や関節の異常とは全く別の原因が潜んでいるに違いないと私は考えています。

その原因とは、「神経の劣化」です。神経には、「脳からの命令を伝える」「脳に情報伝える」という双方向の働きがありますが、神経が劣化すると、その情報伝達に支障をきたし、思いもよらないしびれや痛みを誘発してしまうのです。

神経の劣化が招くのは、しびれや痛みだけではありません。高血圧・便秘・耳鳴り・難聴・目の疲れ・イライラ・意欲減退・ふるえといった体の不調には、すべて神経の劣化が関係しているといつても過言ではないでしょう。

これまで39万人を超える患者さんと向き合ってきた結果、私は今まさに、神経の劣化が体にもたらす悪影響に注

神経の役割を理解するには、私たちが住む「街」のシ

**血管の働きも衰え
血流が停滞**

まずは、神経とはどのようなものか、説明します。神経は、脳と脊髄を指す「中枢神経」と、そこから枝分かれして全身に張り巡らされている「末梢神経」の二つに分けられます。いずれも大切な神経ですが、神経の劣化という観点では、末梢神経が特に重要で、これから述べる神経は末梢神経を意味します。

くどうちあき脳神経外科クリニック院長
**くどうちあき
工藤千秋**

●工藤千秋先生が診療されているくどうちあき脳神経外科クリニックは、〒143-0016 東京都大田区大森北1-23-10です。

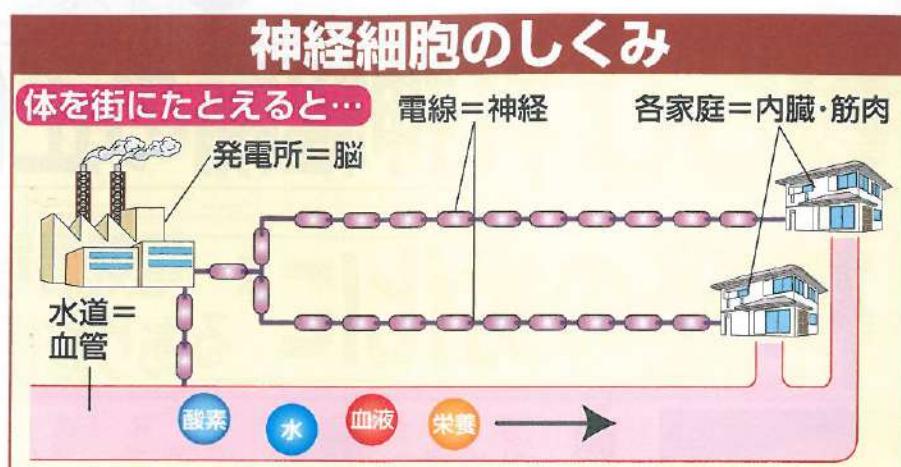
水も電気も家々にとつて大切なライフラインです。ただし、電気は水がなくても流れますが、水は電気がなければポンプが動かせず流れませ

りやすいでしょう。右の図にあるように、脳は発電所、内臓や筋肉は街の家々、血管は水道管、そして神経は電線に当たります。

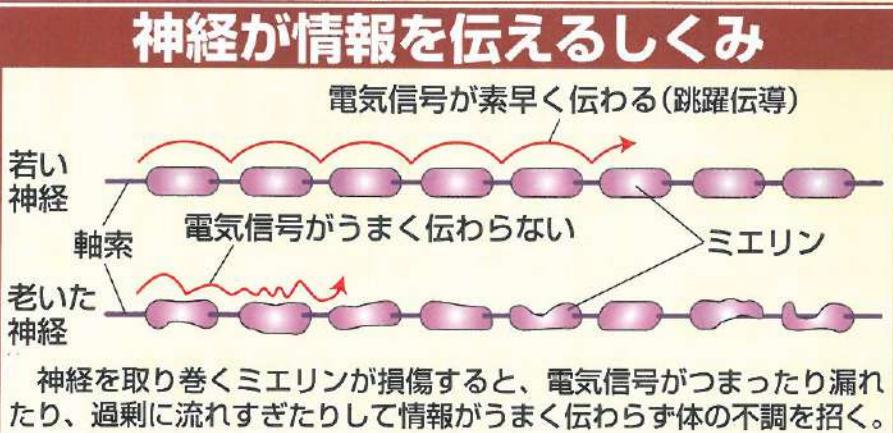
システムをイメージするとわかりやすいでしょう。右の図によると、脳は発電所、内臓や筋肉は街の家々、血管は水道管、そして神経は電線にあります。水も電気も家々にとつて大切なライフラインです。ただし、電気は水がなくても流れますが、水は電気がなければポンプが動かせず流れませ

神経の保護膜が傷つき電気信号が乱れる

神経が若さを保ち正常に働くかどうかは、神経細胞が持つ軸索という部分がカギを握っています。神経細胞は、主に、核がある細胞体、ほかの神経細胞から電気信号を受ける樹状突起、ほかの細胞に電気信号を



脳は神経に電気信号を流している発電所、内臓や筋肉は街の家、血管は水道管、神経は電線と考える。電線が破損するとすべてが機能しなくなる。神経が衰え脳の指令が伝わらないと健康が維持できない。



神経を取り巻くミエリンが損傷すると、電気信号がつまつたり漏れたり、過剰に流れすぎたりして情報がうまく伝わらず体の不調を招く。

の酸素や栄養の供給が滞り、万が一にもそれがつまってしまふと、脳卒中や心筋梗塞といった命をもかねません。昨今、「血管の若返りが大切」とよく話題になりますが、実は、神経が劣化していると血管の働きも衰えてしまいま

す。血管もまた、脳からの指令で動いているので、神経が正常に働かなければ、その役割を果たせなくなり、血流が停滞してしまうのです。電線と異なるのは、このミエリンがところどころ途切れ、その部分では軸索がむき出しになっていることです。神経を流れる電気信号は、ミエリンを飛び越してむき出しの部分だけをジャンプする「跳躍伝導」といい、超高速で電気信号を伝えることができます。ところが、ミエリンが損傷して神経が劣化すると、跳躍伝導がうまく行われなくなり、脳からの命令も体の感覚の信号もスムーズに伝わらなくなります。そして、それがきっかけでしびれや痛みなど、体にさまざまな不調が現れてくるのです。

電線は電気を通す銅線がビニールなどの絶縁体で覆われていますが、軸索もそれと同じように電気を通さない脂質の保護膜で覆われています。この保護膜を「ミエリン」(髓鞘)といいます。電線と異なるのは、このミエリンがところどころ途切れ、その部分では軸索がむき出しになっていることです。神経を流れる電気信号は、ミエリンを飛び越してむき出しの部分だけをジャンプする「跳躍伝導」といい、超高速で電気信号を伝えることができます。ところが、ミエリンが損傷して神経が劣化すると、跳躍伝導がうまく行われなくなり、脳からの命令も体の感覚の信号もスムーズに伝わらなくなります。そして、それがきっかけでしびれや痛みなど、体にさまざまな不調が現れてくるのです。

神経が劣化すると神経を包む保護膜が壊れ痛みを伝える「電気信号」がこちで漏電し症状が延々続く

くどうちあき
工藤千秋

電気信号の漏電で ピリピリ痛みが続く

人体に張り巡らされた神経は、全長が72キロになるといわれ、その中を時速400キロもの超高速で電気信号が行き来しています。このスーパーコンピューターをもじのぐ情報伝達のしくみを支えているのが、神経細胞の軸索を途切れ途切れにカバーする保護膜のミエリンです。

ミエリンが損傷すると、スマーズな情報伝達ができなくなるだけでなく、途中で電気信号が漏れたり（漏電）、つまつたり、または過剰に流れすぎたりして、神経の働きがどんどん低下していきます。

電気信号が漏れると、本来届けるべき場所に電気信号が届かなかつたり、関係のない場所に電気信号が流れてしまつたりします。すると、「神

経障害性疼痛」と呼ばれるさまざまな「痛み」が出現しやすくなるのです。

例えば、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアの患者さんに多いピリピリした坐骨神経痛は、腰から足にかけて伸びている神経が圧迫され、ミエリンが傷つき、そこから電気信号が漏れてしまうことがしづれや痛みの原因だと思われます。

また、顔や舌、のどに激しい痛みを感じる三叉神経痛や舌咽神経痛も、同じしくみで起こります。

糖尿病の患者さんを悩ませる足裏や足指、手指のピリピリ、ジンジンとした痛みやしひれは「糖尿病性末梢神経障害」といい、これも神経の漏電が原因です。

高齢になると、手が震えてコップが持てない、字がうまく書けないなど、「ふるえ」

に悩む人も多くなります。こうした老人性のふるえもまた、ミエリンが壊れて漏電し、脳の指令（ドーパミン）がうまく体に届かず、ふるえを調節できなくなっています。

からだと考えられます。

電気信号がつまると しづれが長引く

電気信号がつまってしまう場合もあります。すると、電気信号の流れが遅くなったり、途中で遮断されてしまったりして、「しづれ」を引き起こしやすくなります。

例えば、足腰が痛いからといつて安静にしそぎると、体の運動機能はどんどん低下してしまいます。

「ギックリ腰」はこうした物理的負担がきっかけで、電気信号が流れすぎて起る症状の一つだと考えられます。

椎間板ヘルニアも同様で、突き出た椎間板によつて神経が圧迫され、滞った電気信号が一気に流れ出すさいに、激しく痛むと思われます。

が生じやすくなります。すると、筋肉が萎縮して動きが悪くなるだけでなく、しづれを招きやすくなるのです。

また、電気信号のつまりは血管のつまりも招き、そこから体の冷えが生じて、しづれや痛みを悪化させることにもつながりかねません。

さらに、電気信号が流れすぎるのは、ショートしてミエリンが壊れたり、神経が興奮状態に陥つたりします。その典型的な症状が、腰痛やひざ痛といった関節痛です。

●長引くしびれ・神経痛の正体は骨格や関節の異常とは別の神経の劣化による電気信号の乱れにあり修復すれば軽並み回復

こだわりの逸品

ヤマブシタケのひ・み・つ

中国では四大珍味として高級料理や薬膳の素材として珍重されています。

脳の神経細胞の成長にかかせないNGF(神経成長因子)の合成に関わる物質が含まれていることが明らかになりました。

脳の入り口には「血液脳関門」があり、ヤマブシタケの中の二つの有用成分はゆうゆうとそこを通過します。

親孝行 子孝行

頭も身体も
これで安心

親孝行
子孝行

(450粒)10,260円

内容成分

高含有
イチョウ葉抽出物(日本産)
ヤマブシタケエキス末(2倍濃縮)
靈芝エキス末(15倍濃縮)

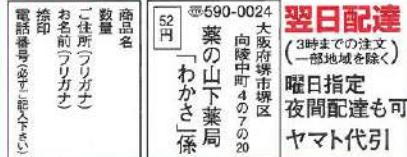
お申込みは電話かハガキで!!

■電話でのお申込みは(受付朝9時~夜7時迄、日・祝日は休み)

0120(40)5599
Free Dial

■FAXは24時間受付 FAX 072(254)7885

■ハガキでのお申込みは



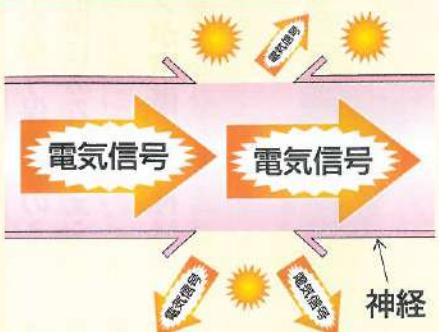
お買い求め合計金額
9,720円以上の場合
※お買い求め全額9,720円以下は、送料+手数料540円をご負担ください。
●お支払いは到着時に代引きを選択して下さい。●商品到着後5日以内に返品交換ができます。但し、返品料はご負担下さい。●リボルビング払いもあります。※表示価格は全て消費税込です。
ホームページ開設 <http://www.kusuri-yamashita.co.jp>
※ネットショップの楽天市場でもお買い求めいただけます。

薬の山下薬局

〒590-0024 大阪府堺市堺区向陵中町4-7-20

神経の電気信号の流れの異常で不調が起こる

電気信号が漏れる



電気信号が漏れると、神経障害性疼痛の痛みが出現しやすくなる。具体的には、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアの坐骨神経痛、三叉神経痛や舌咽神経痛、糖尿病性末梢神経障害の足裏や足指、手指の痛み、老人性のふるえなど。

電気信号がつまる



電気信号がつまると、しびれを引き起こしやすくなる。

しびれ以外にも、便秘、冷え症、むくみなどの症状が出やすくなる。

また、体を動かす機会が減り筋肉が萎縮する、廃用性筋萎縮も招きやすくなる。

電気信号が流れすぎる



電気信号が流れすぎると、ショートしてミエリンが壊れたり、神経が興奮状態に陥ったりする。

具体的には、腰痛やひざ痛といった関節痛、腰椎椎間板ヘルニア、ギックリ腰、慢性的な頭痛、肩こり、首痛、大後頭神経痛などを招きやすい。

流れるために、それが腰の痛みをより強めてしまうのです。ひざ痛は、軟骨の劣化などひざ関節に生じた異常が引き金となって、周囲を走る神経に過剰な電気信号が流れ、痛みが強まってしまいます。そのほか、慢性的な頭痛、肩こり、首痛なども電気信号の流れすぎが一因です。

特に、後頭部から首、肩へとつながる大後頭神経に過剰な電気信号が流れる、頭や首、肩にキリキリとした痛みが起ります。これは「大後頭神経痛」というもので、緊張性頭痛や片頭痛に続く第3の頭痛といわれています。パソコンやスマートフォンを作する機会の多い人によく見られる症状です。

運動不足による筋力の衰えが指摘されていますが、慢性的な腰痛においては、ストレスなどの心理的要因も隠されて

います。心理的負担があると、神経に大量の電気信号が

流れるために、それが腰の痛みをより強めてしまうのです。ひざ痛は、軟骨の劣化などひざ関節に生じた異常が引き金となって、周囲を走る神経に過剰な電気信号が流れ、痛みが強まってしまいます。そのほか、慢性的な頭痛、肩こり、首痛なども電気信号の流れすぎが一因です。

特に、後頭部から首、肩へとつながる大後頭神経に過剰な電気信号が流れる、頭や首、肩にキリキリとした痛みが起ります。これは「大後頭神経痛」というもので、緊張性頭痛や片頭痛に続く第3の頭痛といわれています。パソコンやスマートフォンを作する機会の多い人によく見られる症状です。

神経の新生は今の医学では不可能だが修復なら自力ででき試したらしびれ・痛みが続々回復

壊れたミエリンには再生能力がある

しびれや痛みを招く要因はさまざまですが、根本的な原因は、神経の劣化、すなわち神経の軸索を覆う保護膜のミエリンの損傷にあると考えられます。

ミエリンが損傷した神経

は、跳躍伝導がうまく行われず、脳からの指令を素早く送ることができません。しかし

も、途中で電気信号が漏れたり、つまつたり、流れすぎたりする状態が続くと、伝わるべき情報が正しく伝わらなくなり、その部分の神経回路がどんどんサビついて劣化します。

くどうちあさ
工藤千秋

実は、神経はほかの細胞と違つて新生しないのです。
血液・皮膚などの細胞は毎日新しく作り変えられます
が、神経は5歳くらいまでに全体の約8割が形成され、12歳にはすべての神経ができ上がり、それ以降、新生する

ことはありません。
心臓や肝臓などの臓器や血管は移植が可能ですし、骨は人工素材で代用できますが、神経の移植は、現代の医療技術をもつても非常に困難です。

では、劣化した神経は、もう手の施しようがないのでしょうか。

私たちにできるのは、今ある神経を磨いて若返らせる方法です。幸いなことに、神経の劣化を左右するミエリンには、傷ついても再生する能力があります。傷ついて壊れたミエリンを若返らせる方法を身につければ、年齢に関係なく、若々しい神経を手に入れることができます。

私のクリニックでは顔もみを積極的に取り入れており、さまざまな病気の治療に役立てています。長引くしびれや痛みの緩和にも効果が期待できるので試してください。

そこで、ぜひ行ってほしいのが、私が考案した「顔もみ」です。顔もみとは、傷ついた神経をピカピカに磨いて若返らせる画期的な方法です。

電気信号の漏れやつまり、流れすぎによる神経の劣化は、「使われない神経によって回路がサビついてしまう」と「神経の圧迫によって届けるべきものが届かないこと」でどんどん加速します。

顔もみを行うと、神経に適度な刺激が加わり、電気信号がスムーズに流れるようになります。サビついた神経回路がよみがえります。また、物理的な神経のつまりが改善し、電気信号の通りがスムーズになります。

新生は不可能だが脳の広範囲を 劣化した神経の修復は高齢でもでき 酸素で脳神経の90秒顔もみが一番

**劣化した神経を修復するには
神経を束ねる大もと「脳」を適度に刺激し
酸素で十分に満たせばよく修復力が向上**

ミエリンの修復には
酸素が必要不可欠

若々しい神経は、神経細胞の軸索にミエリンがしっかりと巻きついています。しかし、加齢・ストレス・疲労などさまざまな要因によってミエリンは溶けたり破れたりして壊れてしまいます。

これを食い止めるには、傷

つけたミエリンを再生させなければなりません。そのため必要となるのが、神経への適度な刺激と、大量の「酸素」です。

神経細胞を正常に働かせるには、サビさせないための刺激とミエリンの修復の材料となる酸素の供給が必要不可欠となります。

では、ミエリンに適度な刺激を加え、酸素を送り込むには、どうすればいいのでしょ

うか。
当然のことながら、私たち

は、神経そのものに触れるこ

とはできません。

そこで私は、神経を束ねる大もとである脳に酸素を大量に送って刺激する方法を発見しました。

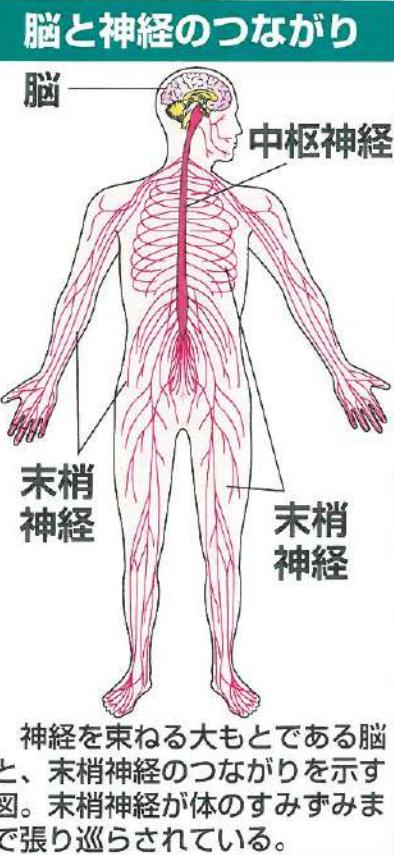
左のワイルダー・ベンフイールドという脳神経外科医が描いた「ベンフィールドのホムンクルスの図」を見てください。

この図は、脳の感覚野（皮膚からの刺激を受け取る部分）と運動野（筋肉を動かす指令を出す部分）が、体のどの部分をどのくらい制御している

かを表した、いわば「脳の地図」です。
これを見ると、脳が、全身をめぐる神経を束ねる大もとであることがイメージしやすくなります。そして、脳と体の各部位の関連がよくわかります。図では、顔と手が脳の大部分を占めているのがわかります。

つまり、顔と手をよく動かせば、神経が大いに刺激され、さらに酸素を供給する血流が促されるため、脳に大量の酸素を効率よく送り込めると考えられるのです。

くどうちあき脳神経外科
クリニック院長
くどうちあき
工藤千秋

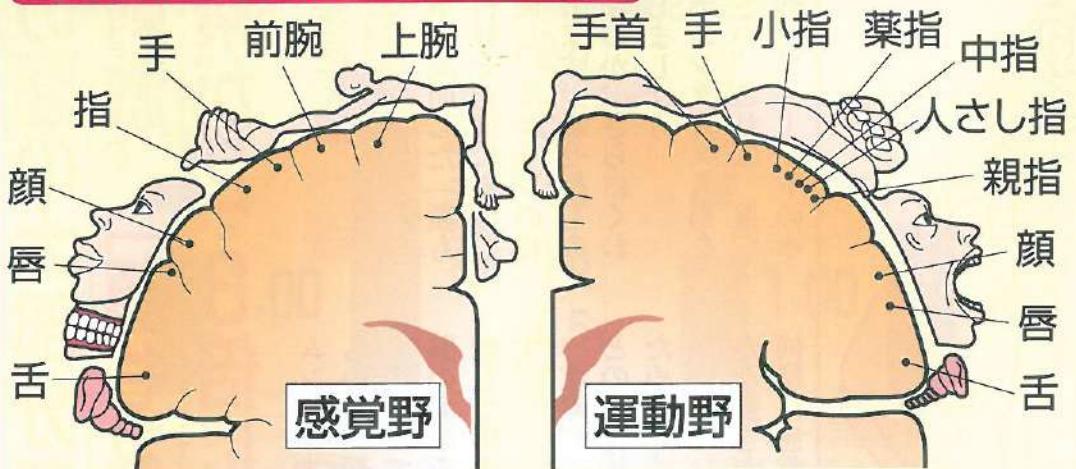


姿勢正しで電気信号のつまりが消える

さらに、神経の若返りには、姿勢を正すことも重要です。

脳の神経は顔と手に集中している

ペンフィールドのホムンクルスの図



ワイルダー・ペンフィールドという脳神経外科医が描いた、ペンフィールドのホムンクルスの図。この図は、脳の感覚野と運動野が、体のどの部分をどのくらい制御しているかを表した、いわば「脳の地図」。脳が、全身をめぐる神経を束ねる大もとであることがイメージしやすい。顔と手が脳の大部分を占めているのがよくわかる。

●顔もみは顔と手を使って行う
顔と手をよく動かせば、神経が大いに刺激されると考えられるので、顔もみは、神経の若返りに効果があると考えられる

外に出て、体の各所に伸びていきます。姿勢が悪く背骨がゆがんでいると、ゆがみのある部分で神経が圧迫されてしまってしまい、電気信号がスムーズに流れなくなります。姿勢を正すと、肺の圧迫が取れて酸素を取り込む能力がアップするのはもちろん、神経の通り道も確保され、酸素不足も神経のつまりも、一気に解決することができるのです。

体力のない人でも 神経を修復できる

脳の刺激と酸素の供給を可能にしたのが、私が開発した「顔もみ」です（基本となるのは、顔もみに加えて「壁背伸ばし」の2つ）です。

顔もみは脳に適度な刺激を与えて酸素を供給し、壁背伸ばしは姿勢を正して肺を広げ、神経の通りをよくするためのもので、2つの体操を併せて行えば、効率よく神経の若返りをめざすことができます。とても簡単な方法なので、高齢の人、体力のない人も抵抗なく始められるのではないかでしょう。

ネコ背など姿勢の悪い人は、肺が圧迫されて呼吸が浅いため、体内に十分な酸素が取り込めません。そのせいで神経は酸欠状態になり、ミエリンの損傷が進み修復が滞る

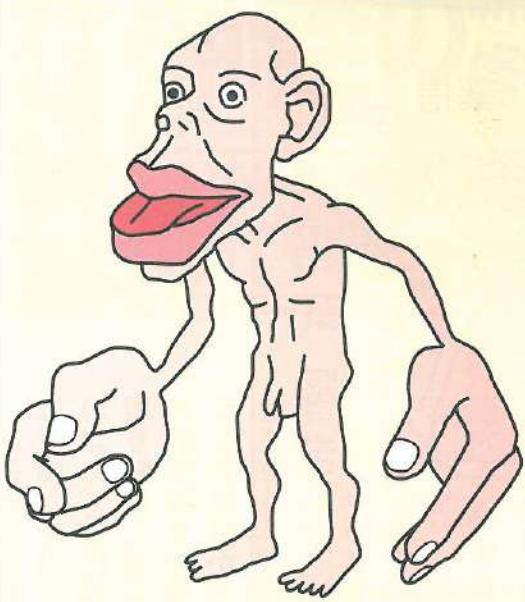
悪循環に陥りやすくなります。また、脳から伸びた神経の束は、24個の小さな骨が連なつてできた背骨の中を通つて、枝分かれしながら背骨の

外に出て、体の各所に伸びてきます。姿勢が悪く背骨がゆがんでいると、ゆがみのある部分で神経が圧迫されてしまってしまい、電気信号がスムーズに流れなくなります。姿勢を正すと、肺の圧迫が取れて酸素を取り込む能力がアップするのはもちろん、神経の通り道も確保され、酸素不足も神経のつまりも、一気に解決することができるのです。

脳の支配の大部を占める顔と手を刺激する「顔もみ」を行つたら、脳の酸素が2・3倍になり症状が改善

顔と手を使えば
神経が若返る

ペンフィールドのホムンクルス人形



25年前のホムンクルスの図を擬人化したのが、ホムンクルス人形。顔と手が異常に大きく描かれており、顔と手に脳の神経が集中しているのがわかる。

前の記事で説明した「顔もみ」は、神経を適度に刺激して血流を促し、ミエリンの再生に役立ちます。なぜ顔もみが効果的なのか、さらにくわしく説明しましょう。

左図のホムンクルス人形を見てください。これは、前回示したペンフィールドのホ

ムンクルスの図を擬人化したもので、顔と手が異常に大きく描かれています。これは、脳の大半を顔や手の神経が支配していることを示しています。

実際、顔には目や鼻、耳などの感覚神経や、表情を作るためのたくさんの運動神経が集中しています。そして、細かな動きが可能な手も、顔と同様に感覚神経、運動神経と

刺激するのに非常に効率が高いのです。

しかも、顔には顔面動脈、眼窓下動脈などの太い血管がいくつも走っているので、顔もみを行えば、その刺激で脳への血流も促されます。

顔もみで脳や神経の若返りが期待できることを示したデータを紹介しましょう。

私は、光トポグラフィー装置(ETG-4000)という機器を使い、平常時と顔もみを行ったあとに、脳の前頭前野を流れる血液中の酸素化ヘモグロビン(酸素と結合したヘモグロビン)量を比較した試験をしました。

ヘモグロビンは、体のすみずみに酸素を運ぶ役割を担つ

もに発達しています。

つまり、顔もみは、最も神経が集中している顔を、2番めに神経が集中している手を使つてもむでの、脳や神経を

結果は、正常時の酸素化ヘモグロビンを1とすると、顔もみを行つたあとは2・33度がアップすることがわかったのです。モグロビン量がアッ

が高ければ高いほど脳の血流量がアップして、ミエリンの修復に必要な酸素が脳に増えたことになります。

くどうちあき
工藤千秋

背骨をまつすぐにする
と脳の酸素濃度が上昇

顔もみを行つたら、次は、神経の通り道を確保するための「壁背伸ばし」も併せて行ってください。

壁背伸ばしを行うだけでも脳内の酸素量は増加します。顔もみ同様、光トポグラフィーで試験を行つたら、平常時と壁背伸ばしをやつたあとで比較すると、脳の血液中の酸素化ヘモグロビン量は1・22倍も増えることがわかりました。

顔もみと壁背伸ばしは、最も1日1回以上行つてください。毎日コツコツ続けられれば、神経が若返って、長引く痛みやしびれなどが緩和されてい

●劣化した神経の新生は不可能だが修復は高齢でもでき脳の広範囲を刺激し酸素で満たす脳神経外科医開発の顔もみが一番

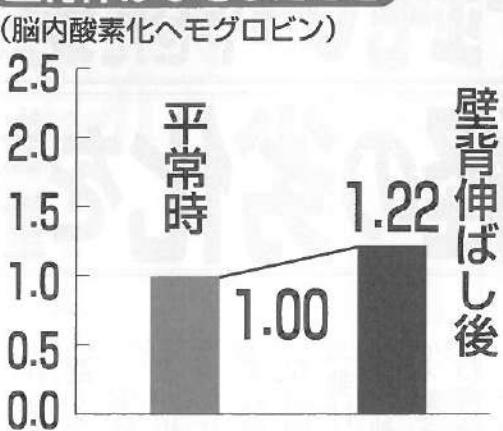
顔もみと壁背伸ばしで脳の酸素量が増えた

顔もみをしたとき



光トポグラフィー装置を使い、平常時と顔もみを行ったあとに、脳の前頭前野を流れる血液中の酸素化ヘモグロビン量を比較。正常時の酸素化ヘモグロビンを1とすると、顔もみを行ったあとは2.33で、2倍以上に酸素濃度がアップしたことがわかった。

壁背伸ばしをしたとき



光トポグラフィー装置を使い、平常時と壁背伸ばしを行ったあとに、脳の前頭前野を流れる血液中の酸素化ヘモグロビン量を比較。正常時の酸素化ヘモグロビンを1とすると、壁背伸ばしを行ったあとは1.22倍で、こちらも酸素濃度がアップしたことがわかった。

くはずです。

顔もみと壁背伸ばしは、一日何回までという制限はない、やつた分だけ神経は若返るので、ぜひ積極的に取り組みましょう。

ただし、壁背伸ばしを行う

さい、骨粗鬆症による背骨の圧迫骨折「いつのまにか骨折」を起こしている人は、急に伸ばすと背骨に大きな負担がかかるので、無理はしないでください。

高齢の人は、安全な場所で

何かにつかりながら行うよ

うにしましょう。

「ぱぴふべぼ」と発音しながら行う

基本となる顔もみと壁背伸ばしのほかにも、症状別のやり方(応用編)も紹介していくのでプラスして行うとより効果的です(10ページからを参照)。

顔もみの応用編には、表情筋を動かして神経を刺激する「おかげひょつとこ」と、唇の神経を刺激する「ぱぴふべぼ」があります。顔もみ応用編は、ぜひ、壁背伸ばしや顔もみといっしょに行ってみてください。顔を動かすことによって意識を集中する、体に余計な力が入らずりラックスして行えます。

また、「ぱぴふべぼ」は1秒に1文字ずついえばそれで5秒になるので、神経クリーニングを行うさいの秒数のカウントにも役立ちます。また、声を出して行うと、聴覚神経の刺激にもなり、まさに一石二鳥です。

そのほか症状別のやり方として、腰部脊柱管狭窄症なら

背骨のゆがみを取り、神経の通りをよくする「壁つかまり」が効果的です。

腰部椎間板ヘルニアなら、ずれた椎間板を正しい位置に戻すように働きかけて神経の

つまりを解消させる「腰反らし丸まり」を行ってみましょう。頸椎症なら、体の前面を伸ばして神経の流れを改善する「背中反らし」がおすすめです。

そして、手足のしびれには「手足ブラブラ」、パーキンソン病には「キラキラ星」、足のしびれには「かかと立ち」がいいでしょう。これらは、関節や筋肉、腱などの動きやバランス感覚を感じる深部知覚を刺激するのに役立ちます。

顔もみと症状別の神経若返り法には回数の制限はありません。いつでも、何回でも好みのタイミングで行ってください。

例えば、トイレに入つたとき、台所に立つたとき、ソファに座つたときなど、日ごろくり返し行う動作の中に組み入れると、無理なく習慣化でくると思います。

動作が鈍い筋肉が頻尿やせた便秘ヘルペス多発など

知らぬ間に起こる神経の劣化を告げる重大サイン観

「食べ物をこぼす」「字がへタになつた」「息切れ」「貧血」などがあればあなたの神経が劣化している疑い大

歩くのが遅くなつたら
神経の劣化が進行中

最近、以下のようなことに
身に覚えがありますか。

「食事中におかずをよくこぼすようになった」「字が昔よりへタになった」「歩くのが遅くなつた」など。

実は、以前はできていたことが思いどおりにできなくなつたり、動作が鈍くなつたりするのは、神経の劣化が大きな原因の一つです。脳から「動け」という命令が出ても、末梢神経が衰えていて、体の末端までうまく電気信号が伝わらないのです。

そのほか、「すぐに息切れがする」「本を読むスピードが遅くなつた」「トイレの回数が増えた」「足がよくむくむ」「頭痛や首こりが治らない」「やる気がわからない」なども、神経の劣化のサインです。

このように、これまで「年

のせい」だとあきらめていたことのほとんどは、大もとの原因をたどれば、神経の劣化が根本にある、と考えられるのです。

前の記事で述べたとおり、神経の劣化が進むと、体のあちこちにしびれや痛み、ふるえを引き起こしてしまいます。で、十分な注意が必要です。

若いと思つてゐる人でも劣化が進んでゐる

「まだまだ自分は若い」と思つてゐる人も、安心はできません。神経の劣化は意外なサ

インとして現れます。例えれば、便秘に悩んでいる人はいませんか。実は、便秘の原因は、神経のつまりにあるといつても過言ではないのです。

私たちが食べ物を食べるとき、その刺激が神経を通って大腸に伝わります。すると、蠕動運動（内容物を先送りする働き）が起こり、消化された食べ物が便となつて直腸に運ばれます。

このとき、直腸のセンサーが便の到着を脳に伝えることで、脳から「便を出せ」とい

くどうちあき脳神経外科
クリニック院長
くどうちあき
工藤千秋

息切れは神経の劣化のサイン

神経の劣化が疑われる重大サインの数々



う指令が出て、私たちは便意を感じます。ところが、神経の劣化で電気信号のつまりが生じると、この一連の神経の流れがうまくいかなくなり、便秘になってしまいます。

また、「視力が落ちた」「聞こえが悪くなつた」「鼻がき

かなくなつた」「食事がおいしく感じない」など、五感が鈍くなるのも、感覺神経のつまりが原因です。

知覚した情報が脳に届きにくくなり、その状態が長引けば、脳内の神経がしだいにサビついて、やがてウツや認知

症を発症しやすくなりま

息切れは、体が酸素不足で

あることを伝えるSOS信号

なのです。

**神経の劣化で
免疫力まで低下する**

貧血ぎみの人も、神経の劣化が心配されます。

貧血になると、血中の酸素を運ぶヘモグロビンや鉄分が少なくなるため、体が酸素不足になります。

神経の劣化は、神経の軸索を包むミエリンの損傷で起こることを前の記事で説明しましたが、ミエリンの修復には酸素が必要不可欠です。貧血で酸素不足に陥ると、神経の若返りが難しくなり、衰えるいっぽうになつてしまいま

す。特に貧血になりやすい女性は、年齢が若くても注意が必要です。

血流不足になり酸素不足を招くのは、貧血だけではありません。息切れを感じている人も神経が劣化している可能性大です。

神経の劣化は、血管の働きも衰えさせてるので、ほうつき、内臓や筋肉の働きが徐々に悪くなってしまいます。

また、同じ病気にくり返しかかるのも、神経の劣化が疑われます。

例えば、口唇ヘルペスをぶり返す人はいませんか。口唇ヘルペスとは、唇と皮膚の境目にできる水ぶくれ状の吹出物で、子供のときに水ぼうそうにかかった人は、たいていヘルペスウイルスを持つています。

ふだんは、顔の神経がウイルスの暴走を抑えていますが、神経の劣化が顕著になると、ちょっとしたカゼや疲れで免疫力（体を病気から守る力）が落ちたときに口唇ヘルペスを発症します。このように神経の劣化は、免疫力の低下も招いてしまうのです。

神経の劣化のサインにいち早く気づき、「顔もみ」で神経の若返りに努めることができます。

心臓や肺を動かす神経が劣化して電気信号がうまく伝わらなくなると、心肺機能が悪化し、ちょっと動くだけで息が切れるようになります。

日常には神経が知らぬ間に劣化する 盲点が多く「ネコ背」「ソファ好き」 「前髪が長い」「うたた寝」が危険

くどうちあき
工藤千秋

なんと髪型を変えたら頭痛が消失

ネコ背で肺が圧迫され酸素不足に陥る

神経の劣化は、ミエリンの酸素不足や、不自然な姿勢を取りつづけて神経が圧迫されることで進行します。実は、私たちの日常には、神経の劣化を招く危険な盲点がたくさんあります。その1つがネコ背です。

現代人は、背中を丸めながらスマートフォンやパソコン

を使っている人がおおぜいあります。あごを前に突き出した姿勢を長く続ければ、ネコ背が固定されてしまいま

す。ネコ背で背中が丸まつた姿勢は、肺が圧迫されて空気を十分に取り込むことができません。常に、体中が酸素不足になります。

加えて、不自然に曲がった

背骨が神経の通り道を狭め、神経を圧迫するので、電気信号がスムーズに行き来できなくなってしまい、神経の劣化が進んでしまいます。

同様に、デスクワークで1日中イスに座つていて、ソファに座つてテレビを長時間見ていたりするなど、同じ姿勢を取りつづけるのもよくありません。同じ姿勢は、筋肉の緊張を招いて神経を圧迫し、劣化させます。

側で分けめを作っている女性も、意外なことです。気がぬうちに神経を衰えさせている危険があります。

例えば、原因不明の頭痛を訴えて来院した20代の女性の患者さんがいました。長い前髪を右側に垂らしていた彼女は、首をまっすぐにすると前髪が右目にかかるため、いつも首を右に傾けており、右肩が下がつた姿勢でした。

レントゲン検査を行つたところ、背骨に側弯が認められ、私は、ミエリンが傷ついて過剰な電気が流れた結果、頭痛を起こしていだと推測しました。

彼女は髪型を変えておでこを出し、姿勢を正すように気をつけたところ、半年で頭痛が改善しました。

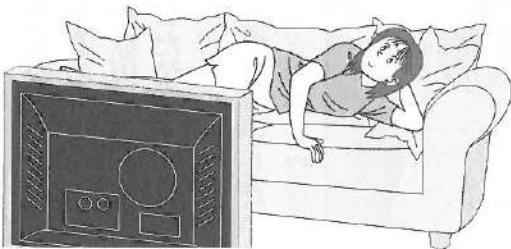
このように神経の劣化は、日常の意外な習慣や動作で進行します。上の一覧表を参考にして、もし、日常生活で正すべき点があれば、早速、改善していきましょう。

神経の劣化を招く生活盲点チェック

以下の項目をチェックしてみてください。チェック数が多い場合は、神経の劣化が進んでいる可能性があります。

1つずつ改善していきましょう。

- ネコ背だ
- デスクワークで1日中イスに座っている
- ソファに座ってテレビを長時間見ていることが多い
- ソファでよくうたた寝をする
- 体を横向きにして寝転び、片ひじをつきながらテレビを見る
- 前髪の片方が目が隠れるほど長い



ソファ好きは神経の劣化を招く

ソファ好きで、家に帰つたらソファから動かなくなる人は、要注意です。ソファでのうたた寝は、不自然な姿勢を続けることになるため、背骨がゆがみ、神経の電気信号の通りを悪化させます。

体を横向きにして寝転び、片ひじをつきながらテレビを見ると、リラックスしているように感じますが、実は、この姿勢は背骨や神経に大きな負担をかけているので、習慣になつている人は、すぐに改めましょう。

このように神経の劣化は、日常の意外な習慣や動作で進行します。上の一覧表を参考にして、もし、日常生活で正すべき点があれば、早速、改善していきましょう。

始めたら神経痛が引き 積年の顔面手術を回避!

足裏しびれ パーキンソン病 改善し驚いた

顔もみを行つたらその場でしびれや痛み、ふるえ、けいれんが和らぎ数週間で見えて改善する人続出

ぱぴふへほといい
ながら体操を行おう

通常の治療に加えて、衰えた神経を若返らせる「顔もみ」を指導すると、その場で

手・顔・足などのしびれや痛みが和らぎ、ふるえやけいれんが止まつたりして驚く患者さんが少なくありません。

顔もみをさらに継続して行うと、1~2週間でつらかつた症状の軽減がはつきりと実感でき、1~3ヶ月もたてば、大幅に改善する人もおおぜいいます。

顔もみや「壁背伸ばし」を行なうときには、ちょっとしたコツがあります。

それは、例えば壁背伸ばしを行うときに、「ぱぴふへぼ」といながら秒数を数えることです(くわしいやり方は10ページを参照)。「ぱ」と発音するのに1秒かけ、「ぴ」と発音するのに1秒かけ……として

いくと「ぱぴふへぼ」で5秒かけることになります。

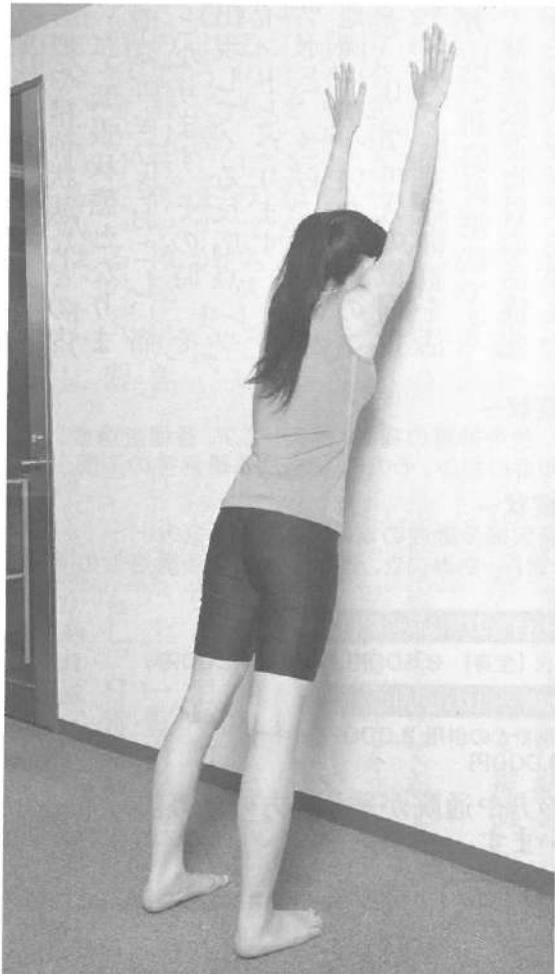
壁背伸ばしは、背中を反らして胸を張る動作に20秒かけて、ぱぴふへぼを4回発音すればいいのです。

こうすると、しびれや痛みに意識が集中しないので、リラックスして体操が行えます。すると、痛みでなかなか反らせなかつた背中を、だんだん反らせるようになつてくるのです。

私はこれまで、しびれや痛みで顔をゆがめ、気分の落ち込んでいた患者さんが、笑顔になつていくようすをたくさん見てきました。そうした症例の一部を紹介しましょう。

まずは、腰椎椎間板ヘルニアによる坐骨神経痛の改善例です。

椎間板ヘルニアは、症状が



壁つかまりはしびれや痛みに効く

くどうちあき脳神経外科
クリニック院長
くどうちあき
工藤千秋

深刻だと手術が必要な場合もありますが、患者さんの多くはなんとか手術を避けたくて来院します。

そこで私は、顔もみや壁背伸ばしを指導し、症状を少しでもらくにしてもらいます。

こうして手術を先延ばしにできる患者さんもいれば、手術後に顔もみを行つて回復が早まる患者さんもいます。

水野幸一さん（67歳・仮名）は、ここ2～3年で右の腰から足にかけて痛むようになり、ようすを見ながら生活していました。それが、日曜大工で重い荷



坐骨神経痛が2週間半で半減し歩けた

物を持ったはずみに、腰の激痛に見舞われたのです。水野さんは、あまりの痛さに歩くこともままならなくなり、腰に湿布薬を貼りながら、自宅で1週間ほど丸まつて寝ていたといいます。トイレには、はつて行くしかありませんでした。

そのようすを見かねた息子さんに付き添われ、私のクリニックを訪れたのです。MRI（磁気共鳴断層撮影）検査をすると、第一腰椎と第二腰椎、第二腰椎と第三腰椎の間に椎間板ヘルニアが認められました。

「先生、とてもこんなボーズを取る体操は無理です」という水野さんに「無理のない範囲で体を動かしてください」と説得し、自宅に帰つてからも行つてもらう約束をしたのです。腰反らし丸まりを行なうさいは、「ぱぴぶペー」といいながら秒数を数えてもらいました。

椎間板ヘルニアの 激痛が和らいだ

水野さんは、腰の激痛が少しでも和らぐならと、最初は布団の上で横に寝ながら、背中を丸めて伸ばしました。すると、薄紙をはぐように1日ごとに腰痛が和らぎ、1

水野さんは、坐骨神経痛がひどく、診察室ではイスに腰かけるのもやっとで、背中を伸ばすことができませんでした。そこまで、腰に痛み止めの注射を打ち、コルセット・鎮痛薬・湿布薬を処方しました。

そして、「顔もみ」に加えて、イスに座つて背中を伸ばしたり丸めたりする「腰反らし丸まり」を指導したのです。

「先生、とてもこんなボーズを取る体操は無理です」という水野さんに「無理のない範囲で体を動かしてください」と説得し、自宅に帰つてからも行つてもらう約束をしたのです。腰反らし丸まりを行なうさいは、「ぱぴぶペー」といいながら秒数を数えてもらいました。

その後、水野さんの自宅にぶら下がり健康器がたまたまあったことを聞き、そのつかもるバーではなく、バーを支える縄の支柱につかり、「壁つかまり」（116参照）を行うことをすすめました。

水野さんは、背中が伸ばせないため、最初は支柱の下側にしかつかまれませんでしたが、しだいに支柱の上側につかまれるようになりました。

2週間半たつたころ、水野さんの腰の激痛はほぼ半減し、背中を伸ばして立つたり、歩いたりできるようになつたのです。

現在、水野さんの腰痛はかなり軽減されており、診察時に痛みで顔をしかめることができなくなりました。腰反らし丸まりと壁つかまりを続ければ、痛みが消えるのではない

週間後には、壁につかまって立ち上がり、歩いてトイレに行けるまでになったのです。

まだ背中が丸まつて腰が引けた状態でしたが、水野さんは、オムツが必要になるのを恐れて、必死にトイレまで歩くようにしたそうです。

骨化症と腰の激痛で仕事も歩いたが顔もみと壁つかりで大改善

工藤千秋

家族につかまつて歩いていた

奥田弘明さん（自営業・53歳・仮名）は初診時、「イタタツ」と顔をしかめ、前かがみの状態で奥さんにつかまつて診察室に入つてきました。

両足が正座をしたあとのよう常にしごれて、とても歩きづらいとのことでした。前傾姿勢のまま、それ以上腰を丸めても反らしても激痛が走り、一人で歩くときには、両手を斜め後ろに伸ばしてバラ

ンスを取りながら、ベンギンのようにすり足で少しづつしか歩けなかつたのです。日常生活も困難で、自営の印刷業は、家族にまかせるしかない状態でした。

MRI（磁気共鳴断層撮影）検査の結果、後縦靭帯骨化症を伴つた脊柱管狭窄症だとわかりました。後縦靭帯骨化症とは、背骨を支える靭帯（骨と骨をつなぐ丈夫な線維組織）が骨化（組織に石灰が沈着して、骨組織が作られること）して分厚くなり神経を圧迫す

る病気です。国から難病指定されており、手術をしないかぎり悪化していくと考えられています。

実は、奥田さんの父親も同じ病気だったそうです。

奥田さんの場合、腰椎（骨の腰の部分）の第三腰椎と第四腰椎の脊柱管が骨化し、長さ15～20センチほどの余分な骨が脊柱管の内側に貼りついた状態でした。

本来は、手術を受けることがベストですが、奥田さんは手術をいやがり、なんとかしないですむ方法はないかと訴えたのです。

そこで、手術の決心がつくまでしごれを軽減するため、鎮痛薬や湿布薬、腰のコルセットを併用しながら「顔もみ」と「壁つかり」を朝晩に行つようすすめました。



1カ月後には家族の支えなしで歩けた

6週間後に1人で歩けるまでに回復

奥田さんは、手術をさけたい一心で、壁つかりを毎日続けました。背中を少しでも伸ばそうとすると、涙が出るほどの激痛が走りましたが、私を信じて毎日行ってくれたのです。

すると、壁つかりを行うときの腰痛が徐々に軽くなり、10日ほどたつころには、背中がだいぶ伸ばせるようになりました。

それにしたがつて、両足のしごれが和らぎ、歩くときに、足が少し上がるようになりました。

奥田さんが順調に回復していくので、2週間後の外来で、壁つかりをもう少し続けるように指導しました。すると、それから1カ月後には、奥田さんが診察室のドアから、ニコニコしながら1人で歩いて入つてきたのです。やや前傾姿勢ではあるものの、奥さんにつかまらずに歩けるようになつていました。鎮痛薬や湿布薬、コルセットは手放せませんが、腰痛は半減し、休み休み少しずつ仕事をこなしていると笑顔で話してくれました。

パークソンソン病の手のふるえで箸や茶碗が持てなかつたが顔もみと手足^{ブラ}で治まり食事ができた

くどうちあさ
工藤千秋



キラキラ星はふるえに効果大

すくみ足が治り
うまく歩きだせた

神谷伸介さん（72歳・仮名）

は、2年前にパークソンソン病と診断されました。パークソン病の症状の一つは、何もしていないときでも手が小刻みにふるえることです。

神谷さんは、両手のふるえのせいで、食事のときに箸や茶碗を落としそうになるので、怖くて持てなくなつてしましました。

常に前かがみ姿勢になつてしまいました。

早速、神谷さんが手足^{ブラ}とキラキラ星を行うと、

しまい、立っているときや歩くときにバランスが取りづらくなつて杖が必要になりました。歩きはじめは、すくみ足になり、最初の一歩がなかなかに出せなかつたのです。

そこで神谷さんは、顔もみと、食事の前に自分の意思で手を大きくゆつくり^ブラ^ブラと振る手足^{ブラ}（14ページ参照）と、腕を伸ばして回転させるキラキラ星（15ページ参照）をすすめました。

手足^{ブラ}とキラキラ星を行つたところ、すくみ足が改善して、最初の一歩がすんなり出せるようになりました。

こうしたことが自信につながり、神谷さんはパークソン病特有の硬い表情が明るくなつて、ニコッと笑えるまでになつています。

化粧前の顔もみで
表情が明るくなつた

1年前に手のふるえが起
り、パークソン病と診断さ
れ治療を受けていた田宮みす

手のふるえが数秒間止まり、箸と茶碗を持て、2~3口なんとか食べることができたのです。

すぐにまた手がふるえだすので、こまめに手足^{ブラ}とキラキラ星をくり返し行いました。その結果、ゆつくりながらも自分で食事がとれるようになつたのです。

また、歩きはじめる前に手足^{ブラ}を行つたところ、すくみ足が改善して、最初の一歩がすんなり出せるようになりました。

田宮さんは、もともとお化粧をするのが大好きだったそうですが、病気のせいで鏡を見るのが嫌になつてしまつたのです。そこで私は、化粧をする前に必ず顔もみを行うことをすすめました。顔もみを行うと、顔の神経が若返り血流も促され、肌に潤いが出てきます。また、顔もみを行なうがら「ぱびぶべぼ」と発音し、さらに顔の筋肉も動かします。2週間後に来院した田宮さんの印象は、初診時とは全く違つて、パツと明るくなつていきました。依然として硬い表情ではあるものの、化粧がうまくのるようになつたそうです。「先生、顔もみでこんなに化粧ののりが変わるのは不思議ですね」といいながら笑顔を見せてくれました。

その後も、田宮さんは、化粧の前に顔もみを欠かさず行って、前向きな気持ちで毎日を過ごしています。

1ヶ月の顔もみで手術が必要な 三叉神経痛が大幅に和らぎ 食事ができ冷たい水も飲めた

顔に激痛が起り
救急車で運ばれた

顔面神経痛を起こす原因で一番多いのが、三叉神経痛です。三叉神経は、脳幹から出て耳の後ろで三つに分かれ、おでこ、ほお、下あごにつながっています。歯ブラシを口に入れたり、冷たい水を飲んだりすることがきっかけで発症することが多い病気です。

三叉神経痛を発症すると、口を開けるなどして顔を動かしたとき、顔の片側半分に針

走るので、ご飯も食べられなくなります。

これは、脳の中の動脈が神経を圧迫することで、神経を通る電気信号が流れすぎて起こる痛みと考えられます。完治するには、動脈と神経の間にクッショングを入れて圧迫を緩和する手術をしなければなりません。

篠田雅子さん（主婦・62歳・仮名）は、ある日、右の上あごに歯ブラシを当てた途端に、顔の右側に針を刺され



4日めでスープが飲めた

鼻をかめて
家事も再開

そこで篠田さんは、栄養剤を点滴するとともに、顔もみを行うようにすすめました。顔もみは、ちょうど三叉神経の出口付近を刺激しま

さりに、薬の副作用で眠けが強くなり、朝から晩までもうろうとして何もできずに寝ているだけの状態が数日間続いたのです。心配した家族に付き添われて、篠田さんは再び来院しました。

4日めから、口が少しずつあけられ、お茶やスープ、栄養ドリンクが飲めたのです。気持ちも落ち着いてきて、1週間もすると鼻をかめて、冷たい水も飲めました。その後しばらくして、かんで食べる食事が徐々にできるようになりました。

そして、1ヶ月後には、歯ブラシを口に入れられ、洗濯などの家事も再開できました。顔の痛みが大幅に和らいで、篠田さんも家族も非常に喜んでいます。

くどうちあき
工藤千秋

す。ふれるだけで痛い場所を何ヵ所も刺激するのは怖い、という篠田さんでしたが、軽くともいいので顔もみに挑戦してもらいました。

それまでは、痛みが怖くて鼻をかむこともできずにティッシュでそーっとふくだけだった篠田さんですが、「ぱぴぶべぼ」（10ページ参照）と発音しながら、顔もみを1日6回行つたのです。

すると、篠田さんは、自分の顔にさわる恐怖が減つてきて、痛くてさわれなかつた小鼻の横にも指を置けるようになりました。

仕事のストレスで顔面神経痛になつた が顔もみとおかめひよつとこを 半信半疑で行つたら痛みが薄れた

痛みで食事ができず
1ヶ月で5キロやせた

顔面神経痛には、強いストレスによって起こる非定型顔面痛もあります。MRI（磁気共鳴断層撮影）検査で、異常が見られないのに顔が痛くてしかたがない、という場合は、この病気を疑います。非定型顔面痛は、三叉神経痛の刺すような痛みと違つて、ジワーッとうずくような痛みが特徴で、精神的なケアがます必要です。

福田明子さん（会社員・32歳・仮名）

鏡を見ながら大げさな表情をする

「仕事量が多く、会社での対人関係は大丈夫か」と質問しているうちに、富田さん

私は、MRI検査で顔面に異常が見つからなかつたため、何か精神的に苦しんでいることはないか、とくわしい問診を行うことにしました。

富田さんに鏡を持たせ、私が見本を見せながらおかめひよつとこをすすめると、「先生、ふざけないでください」とまるで信じてくれません。ところが、自分のおもしろい顔を鏡で見ていくうちに、富田さん

2週間後に再来院した富田さんは、すっかり表情が柔らかくなり、「よく眠れて顔が痛くななくてきた」とうれしそうに話してくれました。食事も少しずつできるようになりました。体重が1~2キロ戻つたといいます。その後2週間ごとの来院のたびに1~2キロ増えたと報告してくれます。

は、突然、ポロポロと泣きだしてしまいました。実は、仕事が非常に忙しくて残業が多いえ、上司との折り合いが悪かったのです。

トイレのたびにおかめひよつとこをした

ストレスによる顔面神経痛には、本来なら、緊張をほぐすための精神安定薬が効果的ですが、富田さんは「子供が欲しいので、薬を飲みたくない」ということでした。そこで、顔もみと、ストレスを感じたときに「おかめひよっこ」（10ページ参照）を行なうように指導しました。

富田さんは、すっかり表情が柔らかになり、「よく眠れて顔が痛くななくてきた」とうれしそうに話してくれました。食事も少しずつできるようになりました。体重が1~2キロ戻つたといいます。その後2週間ごとの来院のたびに1~2キロ増えたと報告してくれます。

どうちあさ
工藤千秋

しらくになつたようでした。
そこで、家や会社でトイレに行くたびに、鏡を見ながらおかめひよつとこを行なうように提案しました。

「本当に実行してくれるだろうか」と心配でしたが、富田さんは、翌日から、実践してくれたそうです。出社して、上司の顔を見たり声を聞いたりするたびに顔の痛みがひどくなるのですが、そのたびにトイレに行き、おかめひよつとこをしました。すると、心

にゆとりができたそうです。
また、お風呂で「ぱびぶべぼ」と口を動かしたり、風呂上がりに「手足ブラブラ」を行つたりしたところ、その日にたまつたストレスをはき出すことができ、心がほぐれるのを感じました。

富田さんは、すっかり表情が柔らかになりました。それから、顔が痛くななくてきた」とうれしそうに話してくれました。食事も少しずつできるようになりました。体重が1~2キロ戻つたといいます。その後2週間ごとの来院のたびに1~2キロ増えたと報告してくれます。

仕事の合間の顔もみと背中反らしでパンの肩こりもキリする頭痛も3ヶ月で改善し薬を減らせた



ひどい頭痛が3ヶ月で改善し、姿勢がよくなつた

私は、長時間のパソコン作業で背骨がS字状に弯曲し、神経が障害され衰えたことが飲んでしのいでいた

大量の頭痛薬を最近増えている頭痛として、大後頭神経痛があります。症状としては、首から後頭部、頭のてっぺんにかけてキリキリとした痛みが走ります。そのほとんどは、頸椎

(背骨の首の部分) がずれて神経が障害されることが原因で起ころうと考えられています。

小林実さん(システムエンジニア・32歳・仮名)

は、左側のひどい頭痛とパンパンに張った肩のこりに悩まされていました。大量の頭痛薬や湿布薬でしのいでいたものの、

頭痛薬を飲むと胃が痛くなるので困っていたそうです。

頭部のMRI(磁気共鳴断層撮影)検査を

してみると、全く異常はありません。診察中に小林さんをよく見ると、右肩が下がって、首が左に傾斜したまま、体を斜めにして私としゃべっていました。

背中反らしをしたら頭痛から解放された

最近になって、仕事中もずっとひどい頭痛に悩まされていました荒川弓子さん(保険外交員・24歳・仮名)は、19歳から外回りの仕事をしてきたそ

くどうちあさ
工藤千秋

大量の頭痛薬を

飲んでしのいでいた

頭痛の原因だと考えました。そこで、仕事中は腰にコルセットを巻き、正しい姿勢を保しながら、仕事の合間に顔

もみと「背中反らし」(14秒参照)を行うようにすすめました。すると小林さんは、20秒の背中反らしを何度も行ってくれたのです。

おかげで、背骨の弯曲が徐々に改善され、肩こりが軽くなり、3ヶ月後には背中が見違えるほどグーッと伸びました。首の傾きも見られなくなり、「頭痛がウソのように改善して、薬を減らせた」と明るく報告してくれました。

荒川さんは「もう薬を飲みたくない」というので、湿布薬を処方しました。そして、頭痛が余計に悪化したため、来院したのでした。

院したのでした。荒川さんは「もう薬を飲みたくない」というので、湿布薬を処方しました。そして、頭もみと、なるべくすいてい電車に乗って、荷物は床に置き、両手でつり革につかまりながら背中をグーッと伸ばす「背中反らし」をすすめました。そのときに心の中で「ぱぴぶべぼ」とつぶやくようにも指導しました。

すると荒川さんは、2カ月後の来院時に、頭痛から解放されて、サッパリとした表情になつていきました。痛みが全くないわけではありませんが、だいぶらくになつたと、本当にうれしそうでした。

らうと、左肩がだいぶ上がっているおり、背骨が側弯しているのがわかりました。ふだんから持ち歩いているというカバンには、パソコンや資料などがつめこまれて、かなりの重さになつています。それをずつと左肩にかけ、歩いたり電車に乗つたりして、歩いていたり電車に乗つたりしていたのです。

ジンジンしびれて痛い足底筋膜 炎に悩まされたが、顔もみと かかと立ちでらくになつた



1カ月で足裏痛が10から7に減った

両足裏の痛みに
3ヶ月苦しんだ
紀子さん
(主婦・38歳・仮名)
は、日々お姑さんや赤ちゃんの世話を追われています。

1日じゅう休むひまもなく動き回り、昼食も台所で立つたままどることが多いといいます。

そんな福留さんは、以前から両足裏にジンジンとしびれ

るような痛みを覚えていました。それが、3ヶ月前から悪化して、歩くときに、軸足の右足の裏が痛くてしかたがなくなってしまったのです。

福留さんは、いろいろな病院を受診しましたが、原因がよくわからず、処方された鎮痛薬や精神科の薬が少しづつ増え、1日に8~9種類もの薬を飲んでいました。

診察すると、福留さんのふくらはぎがパンパンに張り、

足底の筋肉がピーンと緊張しているのがわかりました。足底筋膜炎が悪化し、痛みを伝えてきました。

さらに、お姑さんからも強

いストレスを受けているようでした。

そこで私は、薬を最小限に減らし、顔もみと、足裏とふくらはぎをほぐす「かかと立ち」(15ページ参照)をお姑さんとすすめました。かかと立ちを行うさいに「ぱぴっぺぱ」(10ページ参照)をお姑さんに聞こえない程度の小声でいうようにしてもらいました。

表情がすっかりにこやかになつた

足底筋膜炎の人人が、ただでさえ痛い足裏を刺激すると、かえって悪化することもあるので、福留さんは注意してかかと立ちを行つてもらいました。福留さんは、「かかと

立ちは痛いけれど気持ちがいい」というので、安全と判断し、続けるようにすすめました。

福留さんは、廊下から部屋に入るところにある敷居のかかと立ちを、1日に10回以上行いました。そのさい、お姑さんは聞こえない小さい声で「ぱぴっぺぱ」といつてくれました。

すると、1カ月後には、もとの痛みを10とすると、6~7まで減つて、「だいぶらくになつた」と、とても感謝してくれました。初診時に引きつっていた表情もすっかり柔らかくなり、にこやかになつています。

気をつけなければならぬのは、すべての足底筋膜炎の人々に、かかと立ちが向いていいわけではない点です。少しやつてみて、症状が悪化するようなら、中止してください。足裏の痛みの悪化がなければ1週間続けてみてください。少しでも改善が見られれば、さらに2週間、1ヶ月とかかと立ちを根気よく続けていくことが大切です。

くどうちあさ
工藤千秋